

様式 4

令和 2 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立倉吉西高等学校  
校長 稲毛 靖

評 価 日	令和 3 年 3 月 2 2 日 (月)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマホのルール違反とあるが、社会人になれば、スマホを使わざる得ない状況となる。どんなことが問題となっているのか。</li> <li>・ ボランティアの機会がコロナの影響によって減少したとあるが、従来のものと異なる新たなやり方はあったか。</li> <li>・ ホームページの閲覧者数が減ったとのことだが、どのページに人気があるかなどを分析しているか。</li> </ul> <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価の変更に対する意見はなく、学校側の評価のとおりとする。公表に関する意見なし。</li> </ul> <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルスによる制約のため、シンガポール研修などが中止になっているが、新たに生徒の関心や意欲を高める方法があるのか。体験する大切さもあるように思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒から校内への持込を許可して欲しいという声があり、使用場所を決めて許可している。問題となっているのは、許可していない場所や時間帯での使用である。</li> <li>・ 従来どおりのものばかりであったが、ご提案の中にあつたオンライン型のものであれば挑戦させたい。</li> <li>・ 特に分析はしていないが、ホームページ更新に全職員が関わるよう推進していく。分析については、可能であれば検討したい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 島根大学オープンキャンパスをオンラインで他校と合同で行い、交流する機会をもった。来年度は SDGs にも取り組む予定にしており、企業訪問をオンラインで行うことなどを計画している。</li> </ul>	

### 3. 取組改善のための提言

・ G I G A スクールとなれば、個人端末が学校の wi-fi につながり、その端末を持ち帰ることとなるが、セキュリティが心配である。

・ 業務カイゼンもあり、教職員の働き改革はどうなっているのか。有給は取りやすい状況にあるか。

・ S D G s を扱うのは大人でも難しい面がある。どこまで自分たちは出来ているのかを把握する指標があるとよい。先行研究や課題があり、その研究はここまでで、生徒自身の考えた+ $\alpha$ のこととを書き分けることができるようになってほしい。

・ 公民館活動で歴史講座を行っているが、高校生の参加者はいない。地元にある高校として、郷土の歴史に興味のある高校生が増えてほしい。

・ 現時点では問題ないが、今後の検討する。

・ 時間外業務では部活動が多いため、月ごとの計画表を確認し、時間外業務の削減を図っている。有給休暇は、考査期間や長期休業を中心に取りやすくしている。

・ チャレンジグループ活動の基盤となる点についてご指摘いただいた。説得力が増す研究となるよう工夫したい。

・ 現在、ふるさとラリーの関門として国庁付近を利用しているが、学校近辺の史跡についても紹介していきたい。